



音 × AI のスペシャリスト

人工知能を活用して音を可視化する

【補足説明資料】Lakelink株式会社との業務提携に向けた協業開始について

2026年1月16日

- ・ H m c o m m 株式会社について
- ・ 背景と課題
- ・ Java日本語仕様書生成サービスについて
- ・ ターゲット顧客
- ・ サービスの特長
- ・ アウトプットイメージ
- ・ 免責事項



会社名 Hmcomm株式会社（エイチエムコム）

上場市場 東京証券取引所グロース市場（証券コード：265A）

設立 2012年07月24日

代表者 代表取締役社長CEO 三本 幸司

事業内容 音声認識処理、異音検知・自然言語解析処理を用いたプラットフォームの提供
情報技術（IT）、人工知能、ロボット工学などの音に関するサイバニクス事業の推進

所在地 東京都港区芝大門2-11-1 富士ビル 2階

システム 課題

- 多数のJavaベースの業務システムが現役で稼働
- 多くは、レガシー化したサブシステムや、メインフレームからのJavaマイグレーション後の環境を含む
- 結果、以下の深刻な課題が顕在化：
 - ◆ 度重なる仕様変更による**設計書の陳腐化・未更新の発生**
 - ◆ **システム監査や外部ベンダー連携への支障**
 - ◆ コード構造の属人化による、**保守運用担当者が全貌把握することの困難さ**
 - ◆ 新規改修や機能追加の度に、**過去の仕様を人手で探る必要があり工数とリスクが肥大**
- 既存Java資産の構造を自動解析、**体系的な日本語仕様書を短期間で整備するニーズが拡大**



Javaソースコードから日本語仕様書生成サービス

- 上智大学百瀬公朗研究室発のAIスタートアップ「**Lakelink株式会社**」が開発
- Javaソースコードから9種類の日本語仕様書を自動生成。フォーマットは顧客に合わせてカスタマイズ可能
- 運用中のJavaシステムの仕様把握・整理・保守文書に、最適なソリューション



Hmcomm

X

Lakelink

こうした市場背景のもと、Hmcomm株式会社はLakelink株式会社と連携し、
AIを用いた技術の推進を実施してまいります



Java 日本語仕様書生成サービス

Javaソースコードから9種類の日本語仕様書を自動生成。フォーマットは顧客に合わせてカスタマイズ可能です。

■ 自動文書生成 | ✉ フォーマットカスタマイズ | 🕒 短期間・大量納入

ターゲット顧客

現在運用中のJavaシステムの仕様把握・整理・保守
文書が必要な企業様に最適なソリューションです。



レガシー化したJavaサブシステムの管理担当者



仕様変更業務が頻繁に発生するメンテナントス担当者



メインフレームからJavaへマイグレーション後の運用部門



顧客の課題

- ✖ 頻繁に起こる仕様変更に対する設計書の更新が後手にまわる
- ✖ 仕様書未更新でシステム監査対応が不可
- ✖ サブシステムをJavaで構築し、レガシー化
- ✖ メインフレームCOBOL・Javaマイグレーション後対応が困難

サービスの特長



自動文書生成

Javaソースコードから
日本語仕様書を自動的に生成。
人手による作業なしで
ドキュメントを作成します。



9種類のドキュメント

Data/UI/Businessの3分野
× 3段階の設計書を生成。
顧客の仕様書フォーマットに
合わせてカスタマイズ可能で
す。



短期間・大量納入可

最短2週間での対応が可能。
大規模システムの
多数のJavaファイルも
一括処理できます。



現状の課題を解決：既存Javaシステムの仕様書作成は通常、多大な工数を必要としますが、本サービスでドキュメント整備を短期間で実現できます。

アウトプットイメージ

Javaソースコードから自動生成される9種類のドキュメント



	Data	UI	Business
概念設計書	ファイル仕様書 ファイル構成・役割を説明	入力情報リスト 生成ドキュメントの入力情報	サブシステム概要仕様書 サブシステム全体構成
基本設計書	DBテーブル仕様書 データベース構造定義	画面・帳票定義仕様書 UI要素の構成と役割	パッチジョブ仕様書 パッチ処理フロー
詳細設計書	データ構造仕様書 クラス・変数詳細	オンライン処理仕様書 UI関連と処理詳細	プログラム仕様書 メソッド・関数詳細

LLM AI生成 併用 自動抽出後AI生成 プログラム 自動抽出

- ・本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。
- ・本資料には、いわゆる「将来の見通し (forward-looking statements)」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。
- ・なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。

